

令和元年台風第19号の状況について

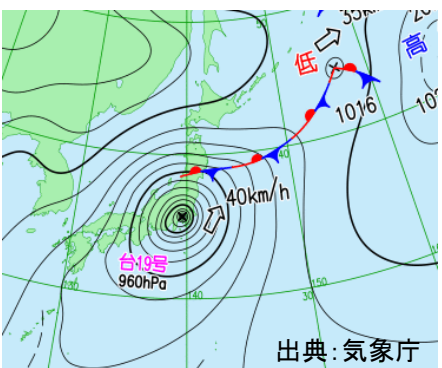
令和2年2月1日
国土交通省 東北地方整備局
福島河川国道事務所

令和元年台風第19号に伴う降雨の概要

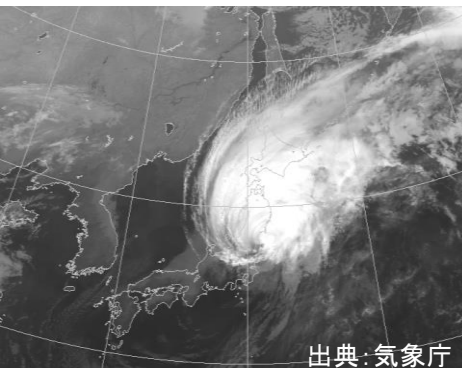
・令和元年台風第19号に伴う降雨では、阿武隈川流域全域にわたり平均253mmの雨が激しく降り、戦後最大であった昭和61年(8.5洪水)や平成の大改修の契機となった平成10年(8.27洪水)を上回る雨量が観測された記録的な降雨であった。

天気図と気象衛星画像

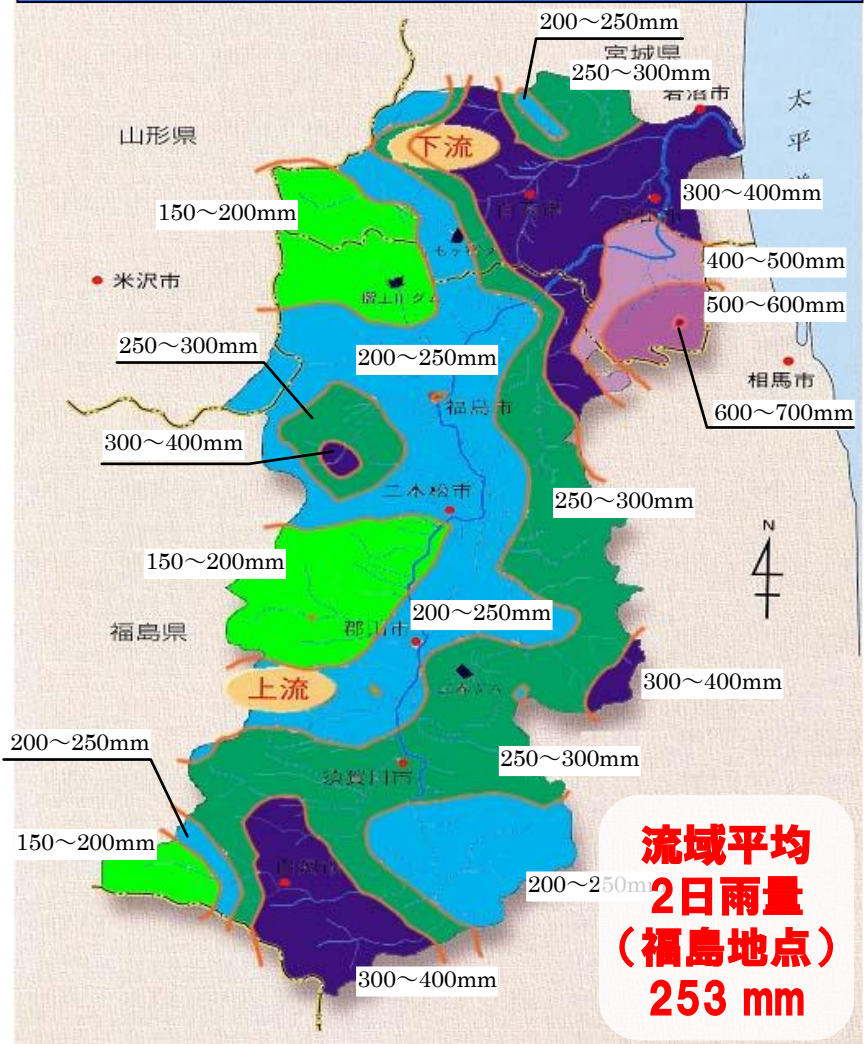
天気図(10月12日21時頃)



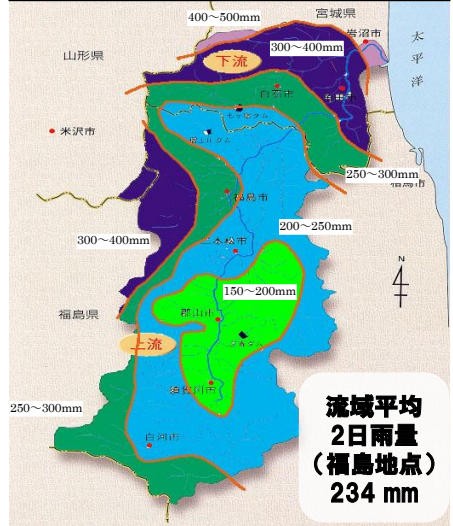
気象衛星画像(10月13日1時頃)



【令和元年台風第19号】



昭和61年8月洪水



平成10年8月洪水



令和元年台風第19号に伴う出水時の水位状況

- 阿武隈川および荒川について、**基準観測所10箇所中9箇所**で**既往最高水位を観測**。
- 基準観測所10箇所中9箇所では**はん濫危険水位を超過**し、特に**本宮・阿久津(郡山市)・須賀川地点においては、計画高水位※を超過**。 ※ 河川管理上の基準とする水位の一つであり、この水位以下で計画高水流量を安全に流下させることができるようにする河川整備や、橋梁などの許可工物設置に際して考慮すべき基準の一つとなるもの

【福島県側】

観測所名	伏黒	福島	二本松	本宮	阿久津	須賀川	八木田
読み	ふしぐろ	ふくしま	にほんまつ	もとみや	あくつ	すかがわ	やぎた
水系名	阿武隈川	阿武隈川	阿武隈川	阿武隈川	阿武隈川	阿武隈川	阿武隈川
河川名	阿武隈川	阿武隈川	阿武隈川	阿武隈川	阿武隈川	阿武隈川	荒川
位置	右66.10K	左77.10K	右106.60K	左118.10K	右133.60K	左147.90K	左1.40K
計画高水位	7.27	6.56	13.18	9.29	8.68	7.99	3.46
所在地	福島県伊達市伏黒	福島県福島市杉妻町	福島県二本松市安達ヶ原	福島県本宮市大字下町	福島県郡山市大字阿久津	福島県須賀川市大字江持	福島県福島市須川町
計画高水位	7.27	6.56	13.18	9.29	8.68	7.99	3.46
はん濫危険水位	5.00	5.40	10.40	7.90	7.90	7.70	2.00
避難判断水位	4.50	5.10	10.10	6.30	6.80	7.10	1.30
はん濫注意水位	4.00	4.00	6.50	5.00	5.50	4.50	1.20
水防団待機水位	3.00	3.00	5.50	4.00	4.00	3.50	0.50
既往最高	昭和23年9月17日 6.00	昭和61年8月5日 5.90	平成23年9月22日 11.57	昭和16年7月23日 9.63	平成23年9月21日 9.20	昭和16年7月23日 9.00	平成1年8月6日 2.50
R1.10.12洪水	令和元年10月13日 1:30 6.34	令和元年10月13日 3:20 6.43	令和元年10月13日 4:50 12.80	令和元年10月13日 2:10 9.73	令和元年10月13日 1:30 10.01	令和元年10月13日 7:20 9.61	令和元年10月12日 23:10 2.55
	既往 1位	既往 1位	既往 1位	既往 1位	既往 1位	既往 1位	既往 1位
				計画高水位を 44cm超過	計画高水位を 133cm超過	計画高水位を 162cm超過	

※ 10月14日時点の10分データでの整理

【宮城県側】

観測所名	丸森	笠松	岩沼
読み	まるもり	かさまつ	いわぬま
水系名	阿武隈川	阿武隈川	阿武隈川
河川名	阿武隈川	阿武隈川	阿武隈川
位置	右37.20k	右28.10k	左8.10k
計画高水位	23.70	17.99	8.25
所在地	宮城県伊具郡丸森町船場	宮城県角田市枝野寄井	宮城県岩沼市阿武隈
計画高水位	23.70	17.99	8.25
はん濫危険水位	22.30	17.00	8.20
避難判断水位	22.00	16.60	7.90
はん濫注意水位	19.50	14.50	5.00
水防団待機水位	18.00	13.00	4.00
既往最高	昭和16年7月23日 22.65	昭和61年8月5日 17.10	昭和16年7月23日 8.04
R1.10.12洪水	令和元年10月13日 4:40 23.49	令和元年10月13日 5:00 17.48	令和元年10月13日 6:00 7.17
	既往 1位	既往 1位	既往 6位

【須賀川市】江持第一樋管(95.6k付近)

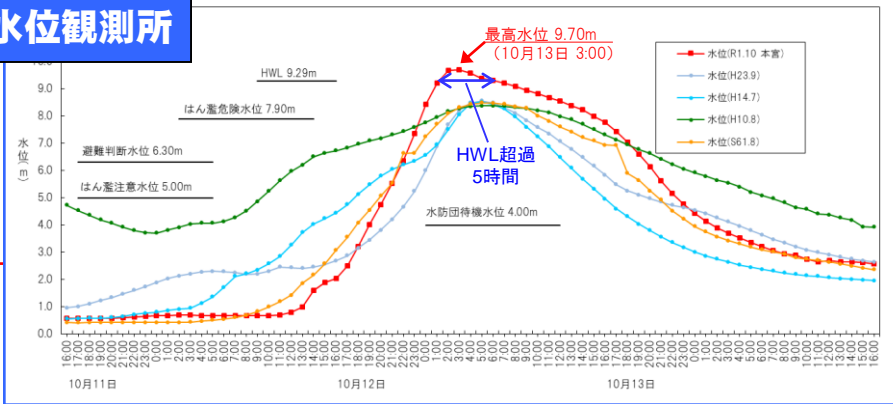


令和元年台風第19号に伴う出水時の水位状況 1 (上流)

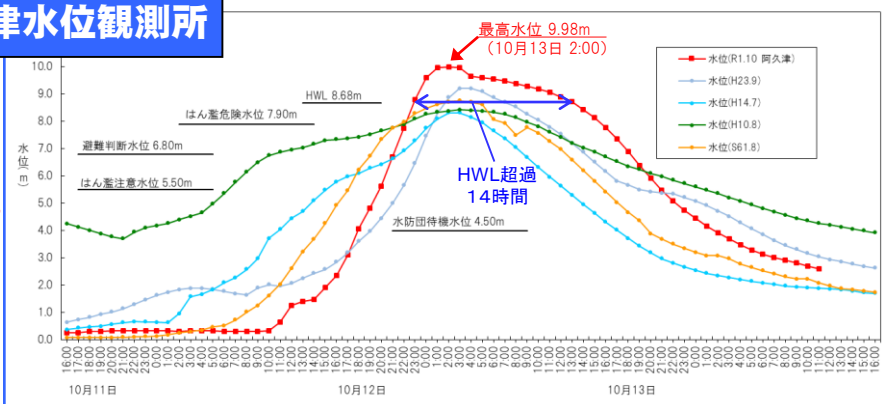
主要地点の水位



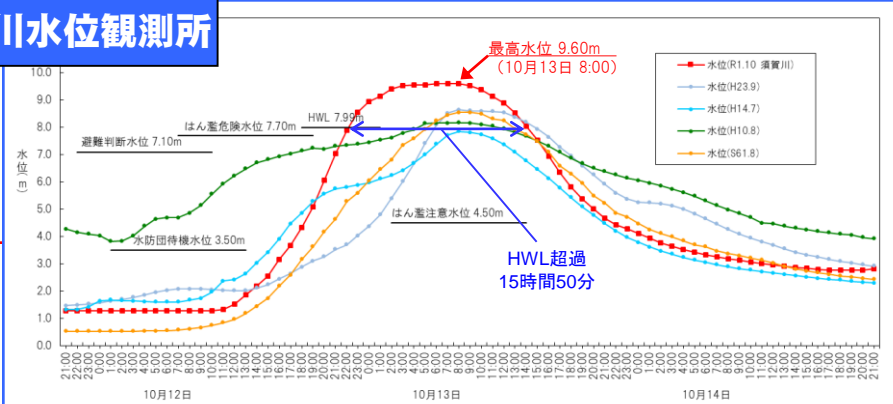
本宮水位観測所



阿久津水位観測所



須賀川水位観測所



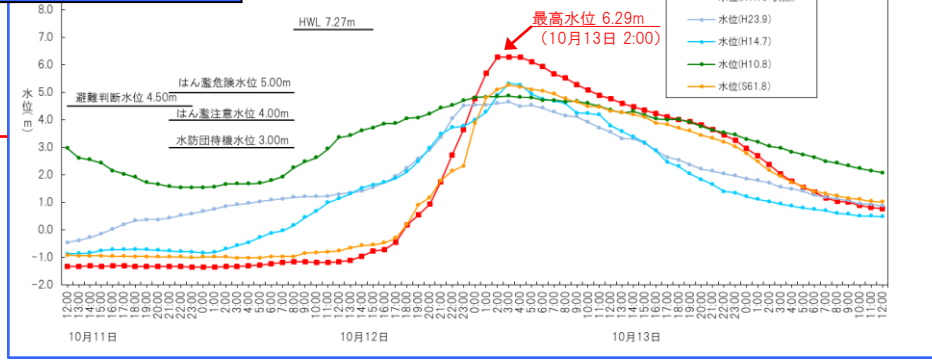
※1時間ごとのデータのため、3ページの10分データの最高水位と時間とは異なる。

令和元年台風第19号に伴う出水時の水位状況 2 (下流)

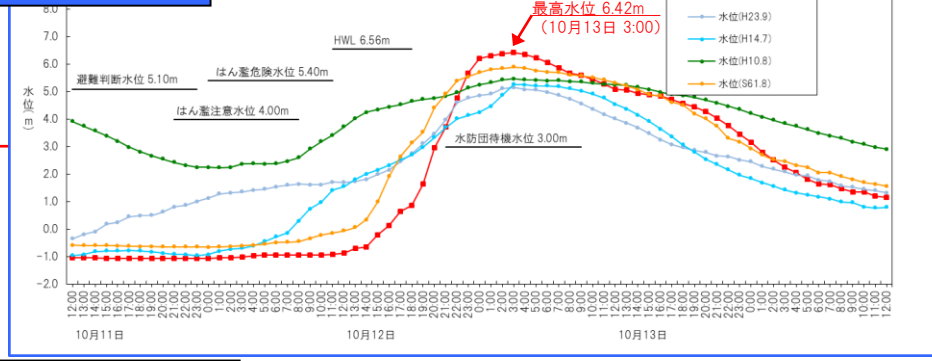
主要地点の水位



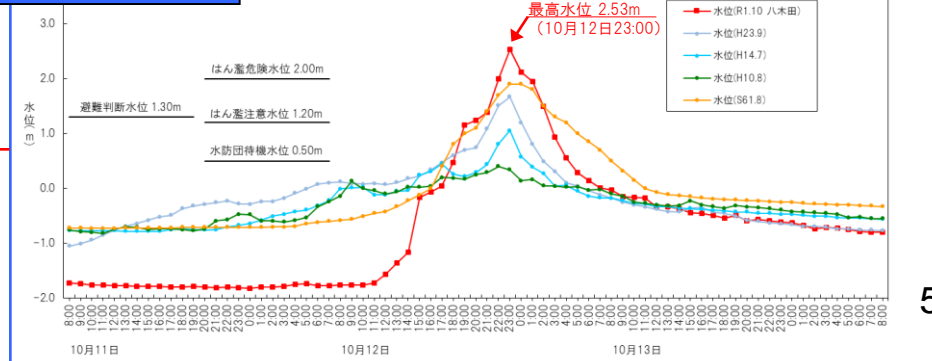
伏黒水位観測所



福島水位観測所



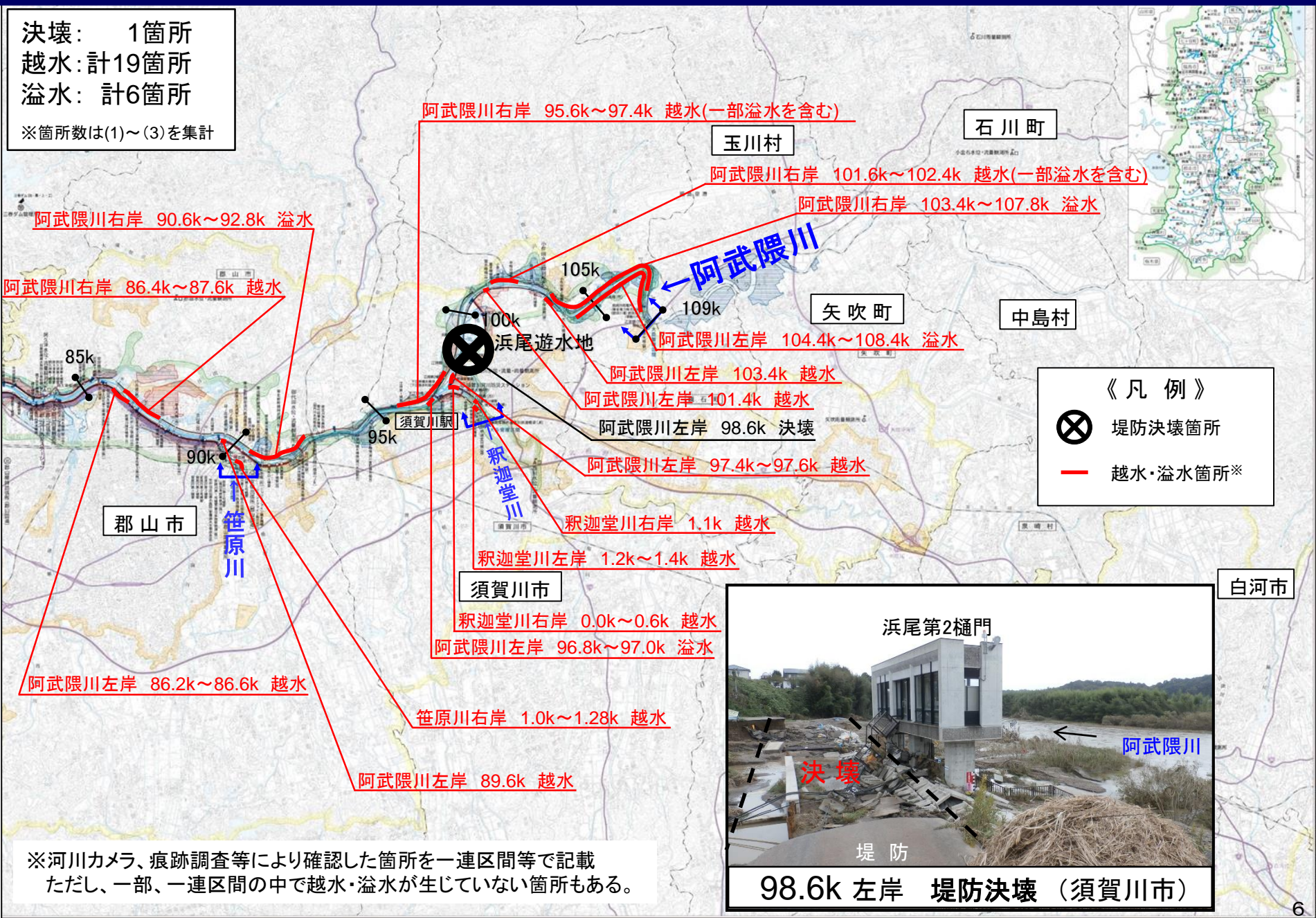
八木田水位観測所



※1時間ごとのデータのため、3ページの10分データの最高水位と時間とは異なる。

阿武隈川の越水・溢水と決壊（上流）

決壊： 1箇所
 越水：計19箇所
 溢水：計6箇所
 ※箇所数は(1)～(3)を集計



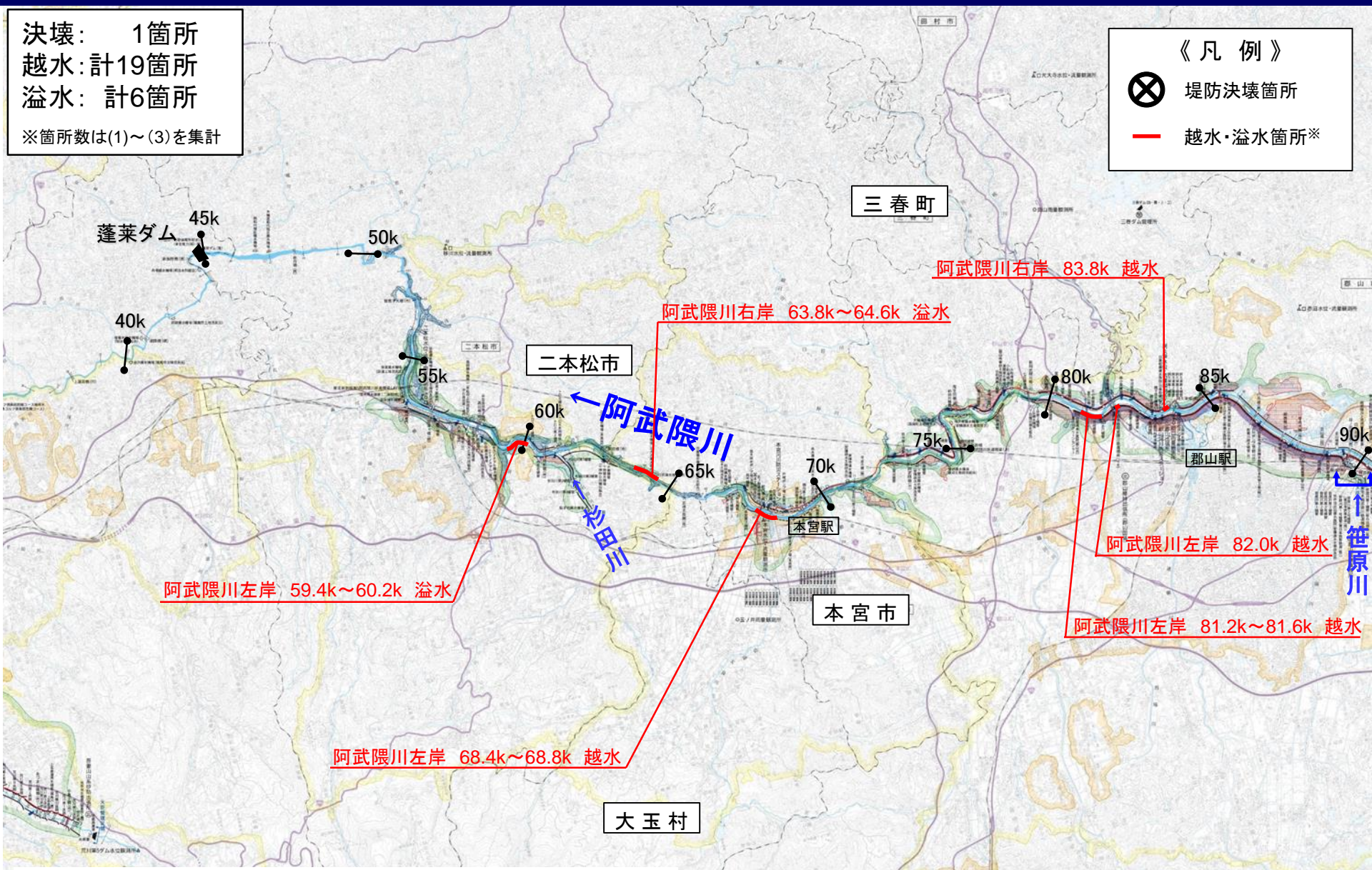
※河川カメラ、痕跡調査等により確認した箇所を一連区間等で記載
 ただし、一部、一連区間の中で越水・溢水が生じていない箇所もある。

阿武隈川の越水・溢水と決壊（中流）

決壊： 1箇所
 越水：計19箇所
 溢水：計6箇所
 ※箇所数は(1)～(3)を集計

《凡例》

- ⊗ 堤防決壊箇所
- 越水・溢水箇所※



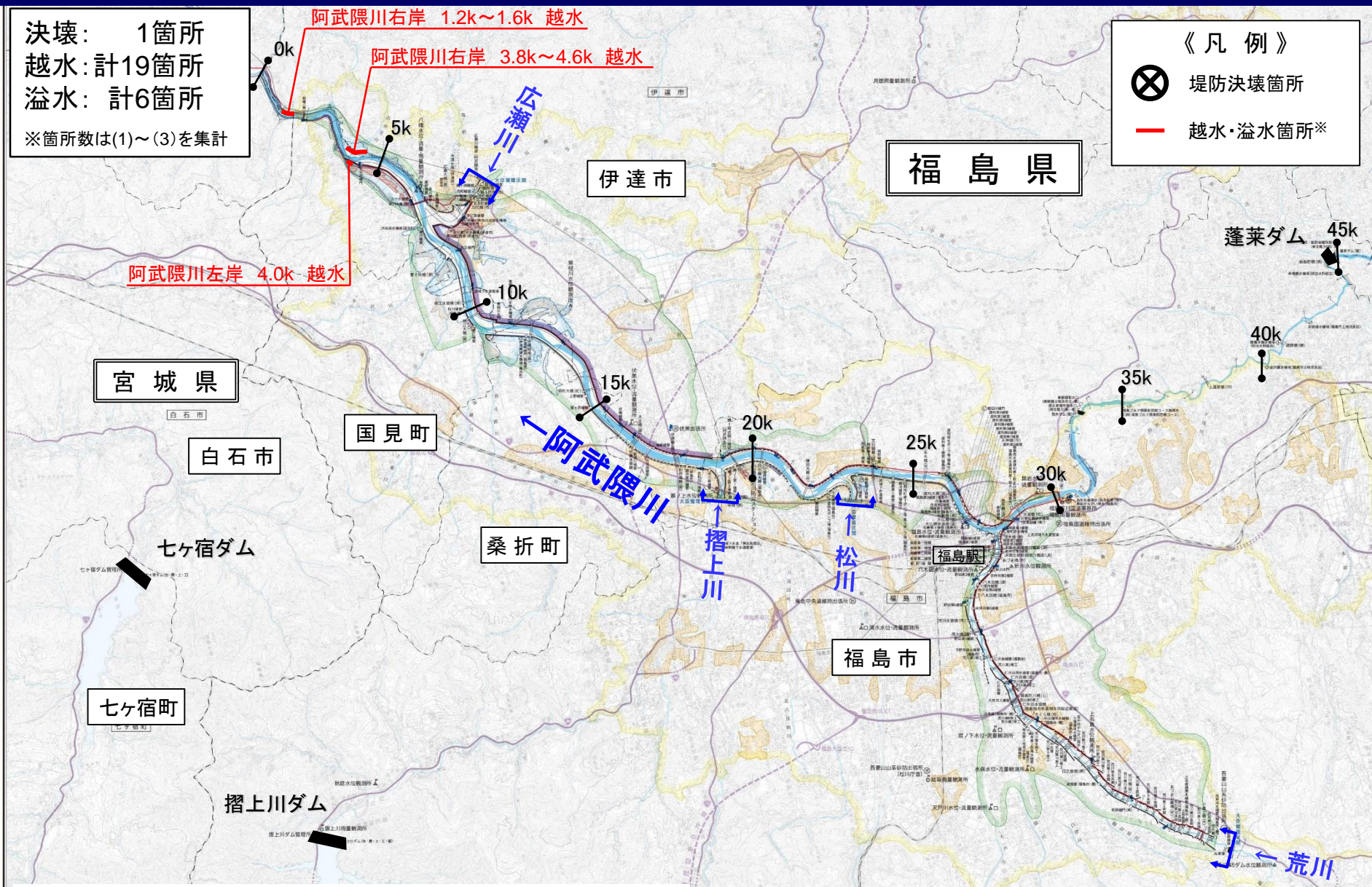
※河川カメラ、痕跡調査等により確認した箇所を一連区間等で記載
 ただし、一部、一連区間の中で越水・溢水が生じていない箇所もある。

阿武隈川の越水・溢水と決壊（下流）

決壊： 1箇所
 越水：計19箇所
 溢水：計6箇所
 ※箇所数は(1)～(3)を集計

《凡例》

- ⊗ 堤防決壊箇所
- 越水・溢水箇所※



※河川カメラ、痕跡調査等により確認した箇所を一連区間等で記載
 ただし、一部、一連区間の中で越水・溢水が生じていない箇所もある。

令和元年台風第19号に伴う出水後の被害状況 1 (上流)

①安達太良川合流点付近(68kp付近)



③行合橋付近(87kp付近)



②富久山橋付近(81kp付近)



④釈迦堂川合流点付近(97kp付近)



■10/13にドローン・ヘリ, 10/14に航空機による状況把握調査等を実施。

令和元年台風第19号に伴う出水後の被害状況 2 (下流)



■ 10/13にドローン・ヘリ, 10/14に航空機による状況把握調査等を実施。

権限代行による福島県管理河川の堤防結果箇所への緊急復旧

○台風第19号に伴う出水により堤防が決壊した福島県管理区間の阿武隈川水系阿武隈川、滝川、佐久間川、濁川、安達太良川、藤田川、谷田川、鈴川において、**福島県知事からの要請を受け国が権限代行**により、福島県建設業協会の協力を得て堤防決壊箇所の緊急復旧工事を実施。**11月21日に全16箇所の緊急復旧工事が完了。**



TEC-FORCE（緊急災害対策派遣隊）による国直轄調査

○台風第19号に伴う降雨により、矢吹町、鏡石町及び玉川村の阿武隈川(福島県管理区間)における決壊箇所の復旧工法等について、各町村からの要請によりTEC-FORCE(緊急災害対策派遣隊)による国直轄調査を実施。

(矢吹町における検討状況)



(鏡石町における検討状況)



(玉川村における検討状況)

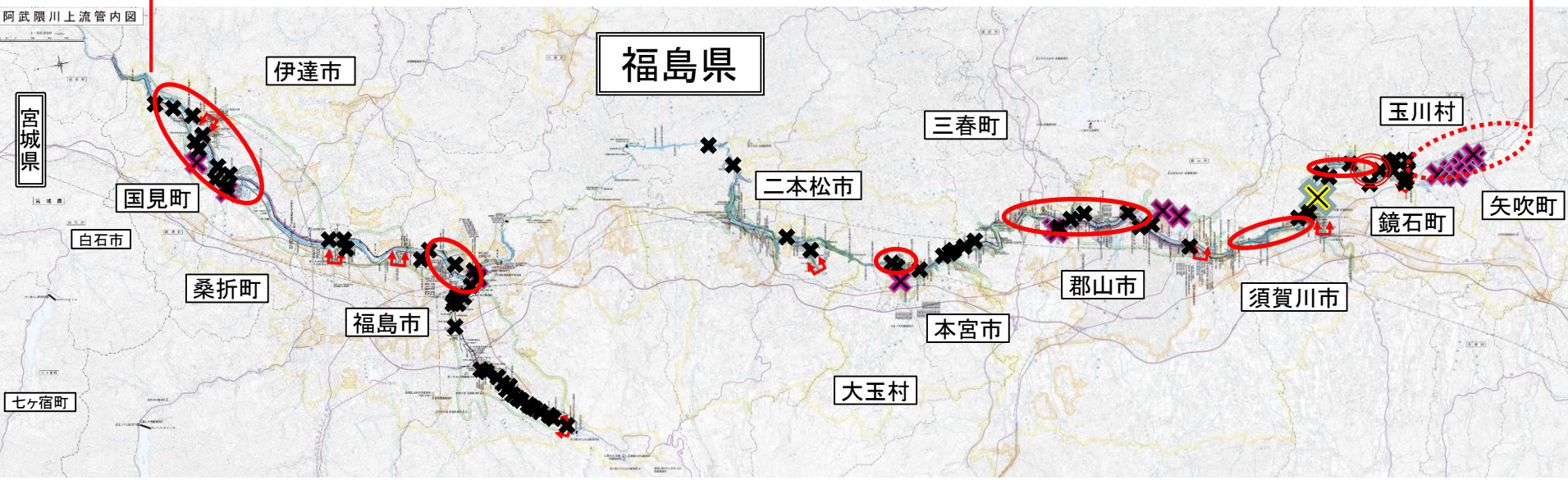


○調査・検討結果については、河川管理者である福島県(須賀川土木事務所(主に鏡石町区間担当)石川土木事務所(玉川村・矢吹町区間担当)及び県南建設事務所(矢吹町区間担当))に報告。

河川における治水対策の推進

○ 阿武隈川上流 直轄河川大規模災害関連事業の着手

阿武隈川上流 直轄河川大規模災害関連事業			
全体事業費	約999億円	築堤	約400m
河道掘削	約220万m ³	遊水地整備	3箇所
橋梁架替	2橋		
事業期間	令和元年度～令和10年度		



凡 例			
	堤防決壊箇所(国管理)		改良事業箇所(築堤・掘削)
	堤防決壊箇所(県管理)		改良事業箇所(橋梁架替)
	堤防・護岸等被災箇所		遊水地整備検討箇所
	大臣管理区間		

阿武隈川上流 直轄河川災害復旧事業			
全体事業費	約121億円		
堤防復旧	8箇所	漏水対策	12箇所
護岸工	42箇所	樋門樋管等復旧	8箇所
床固工補修	14箇所		
事業期間	令和元年～令和2年度		

※直轄河川大規模災害関連事業と一体となって実施